



# 五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

12月



木を1つ1つ運んできてはつなげていく。



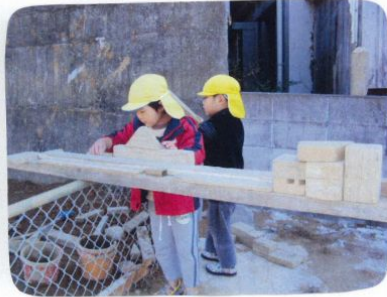
木をつなげて、道のようなものをつくらせていく。



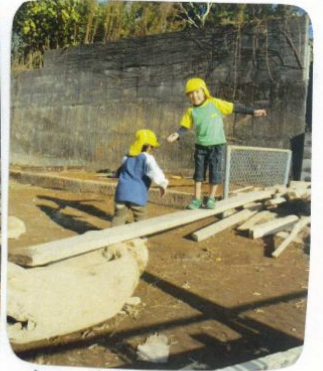
土山から、園庭、室内へ続く道を作り、その上を歩いて遊ぶ。



長い木の上は、小さな木ぎれを重なり重ね、ものに見立てて、「いらぬいませ!」とお店やきんぐこきして遊び始める。



木の上を這って、友だちと一緒に遊ぶ。「ごめいある〜」と言いつつ、バランスよく這っていく。



〈家づくり〉 木を運んできて、屋根をどんぐらん作っていく。



平らな板を見つけ、床を作る。



家がだんだんできていくと、2階へ上がるための板を立てかける



2階から降りてきたら、自由に4行き来して遊ぶ。



1階では、「木けい時間!!」と、横にならべて木けい(たす)する。



・イロイロの葉をみんなが協力して集めて敷きつめて遊ぶ。(まだいこなくて、その上を歩いて、座ったりする。

